

令和元年 8月 21日 14時00分

資料配布 近畿地方整備局

世界遺産平城宮跡の建築復原工事を支える職人の方々を紹介 ～伝統的な工法の担い手確保～

近畿地方整備局では、伝統的な工法の担い手確保に資するため、平城宮跡の「平城宮跡第一次大極殿院南門復原整備工事」で伝統的な工法に携わる職人の方々をホームページにて紹介します。

○特別史跡であり、世界遺産「古都奈良の文化財」のひとつである平城宮跡で実施している「平城宮跡第一次大極殿院南門復原整備工事※」では伝統的な工法の技が多く必要とされます。伝統的な工法は、本工事以外の様々な工事でも必要とされますが、その技の伝承と技能を継承する担い手の確保は重要な課題です。

○近畿地方整備局では担い手確保に資するため、「平城宮跡第一次大極殿院南門復原整備工事」で、伝統的な工法に携わる職人の方々を、技の魅力とともに、以下のとおりホームページにて紹介することとし、今回、木工事についての紹介を掲載しました。

1. 掲載先

<http://www.kkr.mlit.go.jp/build/policy/other/ninaite.html>

2. 掲載内容

(1) 平城宮跡第一次大極殿院南門復原工事に携わる職人の方の「名簿」を掲載

(2) 名簿掲載の方々の中から、数名程度、インタビューの内容を掲載

○今後、順次、各伝統的な工法に携わる職人の方々の紹介を行っていく予定です。

※「平城宮第一次大極殿院」は奈良時代前半、国家で最も重要な儀式が行われていた空間であり、南門は第一次大極殿院の正門です（2022年春に完成予定）。

<取扱い> _____

<配布場所> 近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ

<問合せ先>

国土交通省 近畿地方整備局

営繕部 計画課長

たなか ひろあき
田中 宏明（内線5151）

営繕部 計画課 保全指導・監督官

にしい りか
西井 里佳（内線5157）

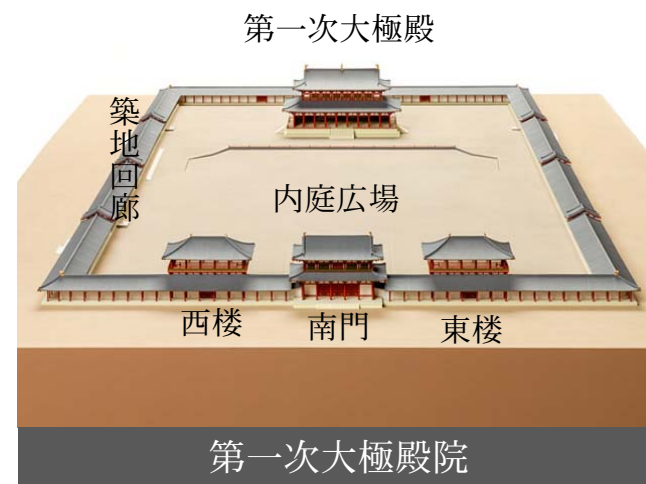
TEL06-6942-1141(代表) 06-6944-0004(直通) FAX06-6943-8452

平城宮跡歴史公園 第一次大極殿院 南門復原整備工事

特別史跡であり世界遺産「古都奈良の文化財」の構成資産の一つでもある平城宮跡については、その一層の保存と活用を図るため平成20年度から国営公園として事業を進めています。

第一次大極殿院は、奈良時代前半、国家で最も重要な儀式が行われていた空間です。その中心にある「**第一次大極殿**（平成22年復原）」は、即位や元日朝賀といった国家儀式や外国使節の謁見えっけんの際に、天皇が御出しゅつぎよする建物です。

「第一次大極殿院建造物復原整備計画（平成23年）」により「**南門**」「**東楼**」「**西楼**」「**築地回廊**」「**内庭広場**」についても順次整備していくことが決定し、現在は「**南門**」の復原工事を行っています。



南門

南門は、第一次大極殿院の正面入口となる建造物です。発掘調査や時代考証の結果、間口約22.1m、奥行約8.8m、高さ約20.0mの入母屋造いりもの二重門に復原されることが決まりました。

南門復原工事においては、伝統的な材料・工法を用いる基本方針を踏まえ、木材加工や瓦葺き、金物、左官、塗装等に伝統的な工法を採用しています。

南門復原整備工事 木工事における伝統的な工法

南門復原には、主に紀伊半島の檜ひのきが使用され（一部に欂けやきも使用されている）、柱のような大径木には樹齢200年程度の木材もあります。木材保管庫に搬入された木材は、自然乾燥と粗取りを繰り返したのち、仕上げ加工を行います。木材の仕上げには伝統的な工法を用いることを基本としています。

八角形で搬入された柱は、古代の道具である「手斧（ちょうな）」を用いて角を落とし、十六面、三二面、六四面に加工します。



手斧（ちょうな）



手斧による加工の様子



手斧加工中

手斧斫りのあとの表面の仕上げには「槍鉋（やりがんな）」を用いています。槍鉋は、使い方によって凹凸のある仕上げを施すことができます。



槍鉋（やりがんな）



槍鉋による加工の様子



槍鉋加工後

木工事に携わる職人の方の紹介①

北嶋 聡さん

経験年数 24年

藤田社寺建設（株）



- 南門復原整備工事での主な仕事 : 全体調整、原寸図※1作成、型板※2作成
- この仕事をしていてよかったと感じる瞬間 : 思い通りにはまったとき。木のねじれなどを見ながら、加工も微妙に調整しています。木の性質を把握し、建物にどう活かすかを考えて作っています。
- 過去の仕事で思い入れのあるもの : 29歳の時に五重塔（兵庫県有馬温泉近くの無量寿寺）に関わったのは恵まれていたと感じます。
- 休日の過ごし方 : 散歩。3時間くらい歩くこともあります。
- 若者へのメッセージ : 仕事はやってみると楽しいと思います。少ないチャンスを活かせるよう、指導・指示を待つのではなく自分から動いていくこと、話を素直に聞くことが大事です。

平川 善久さん

経験年数 23年

平川工務店

- 南門復原整備工事での主な仕事 : 施工図、原寸図作成
- この仕事をしていてよかったと感じる瞬間 : 納まりがピタッとあったとき。
- 過去の仕事で思い入れのあるもの : 最初の仕事が東院庭園だったので非常に印象に残っています。そのときは原寸を担当しました。また、正倉院は一生に一度の仕事だったと思います。
- 休日の過ごし方 : こどもと遊ぶのがリフレッシュです。
- 若者へのメッセージ : 与えられた仕事はひたすら真面目に取り組むことです。一生懸命やっていれば、先輩が教えてくれます。自分でやらないと身に付いていきません。



※1 木材の納まりを原寸大で描いた図面

※2 木材を切り出すための型となる板。

木工事に携わる職人の方の紹介②

上田 晋平さん

経験年数 1年

平川工務店



- 南門復原整備工事での主な仕事 : 粗取り※3から寸法調整までの加工
- この仕事についたきっかけ : 就職活動をしていた時、後世に残る仕事がしたいと思い、文系の大学卒業後に専門学校へ入り直しました。専門学校での古い建築の実測を通じて興味を持ちました。
- この仕事をしてよかったと感じる瞬間 : 東大寺の庫裏の修理の際、柿渋で古い部分と似た色を出せた時は嬉しかったです。
- 休日の過ごし方 : お寺を見に行ったり、図書館で建築関係など色々な本を読んだりしています。
- 若者へのメッセージ : まずは学問を追究することです。やりたいことを持ち、周囲に発信していったら誰かが聞いてくれると思います。

※3 木材の大まかな加工

木工事 取材Photo



▲墨付け作業
木材を切り出すための
印しを書き込んだもの
です。部材同士がかみ
合うように細かく計算
されています。

▲墨付けに用いる道具
より細かい線を表示す
るため、竹の墨差しでは
なくボールペンを使用
しています。

▲指矩(さしがね)
墨付け時の寸法計測の基
本道具です。使い方
によって、勾配部分の切り
出しを表すこともできる
ようになっています。

▲槍鉋作業
復原工事が進んでいる
素屋根内に加工場を設
け、木材の表面の仕上
げ加工を施しています。

▲仕口加工
部材を接合するための加
工を施しています。「ぬ
壺」の表記は、番付けと
呼ばれ、設置する柱の位
置を示しています。

▲肘木(ひじき)
肘木とは、斗を支え
るための水平材です。
釘を用いず、ダボを
使用して接合してい
ます。

南門復原整備工事を支える職人の方の紹介～木工事～



木工事に携わる職人の方の紹介③一覧※

企業名	氏名
平川工務店	平川 善久(ひらかわ よしひさ)
平川工務店	矢谷 勇樹(やたに ゆうき)
平川工務店	吉村 剛一(よしむら ただかず)
平川工務店	御幣 黄太(ごへい こうた)
平川工務店	栗田 忠芳(くりた ただよし)
平川工務店	西川 昇(にしかわ のぼる)
平川工務店	横山 佳亮(よこやま けいすけ)
平川工務店	練木 良則(ねりき よしのり)
平川工務店	小松 輝希(こまつ てるき)
平川工務店	上田 晋平(うえだ しんぺい)

企業名	氏名
藤田社寺建設(株)	北嶋 聡(きたじま さとる)
藤田社寺建設(株)	向山 敬吾(むこやま けいご)
藤田社寺建設(株)	首藤 雅史(しゅとう まさふみ)
藤田社寺建設(株)	今和泉 洋幸(いまいずみ ひろゆき)
藤田社寺建設(株)	石田 浩昭(いしだ ひろあき)
藤田社寺建設(株)	内藤 弘幸(ないとう ひろゆき)
藤田社寺建設(株)	吉田 興市(よしだ よいち)
藤田社寺建設(株)	大谷 遵(おおたに じゅん)
藤田社寺建設(株)	西野 裕之(にし の ひろゆき)
藤田社寺建設(株)	松本 将吾(まつもと しょうご)
藤田社寺建設(株)	向川 那奈(むこうがわ なな)
大久保工務店	大久保 貴己(おおくぼ たかみ)
大久保工務店	大林 颯馬(おおばやし そうま)

※個人名の掲載を承諾いただいた方のみ掲載しています。